

男女共に輝く社会実現

日光こども未来サミット

こども未来サミット宣言の要旨

性別にかかわらず、だれもが共に輝く社会を実現するために、私たちは次のように行動していくことを誓う

I 家庭・家族

- 立場や役割についての固定概念を取り払い、それぞれの家庭や家族の個性を活かしながら生活する。いつかイクメンやカジダンという言葉がなくなり、それが当たり前の社会を作る

II 仕事・職場

- 社会に出たとき、みんなが安心して育休を取得し、復帰できるような雰囲気作りを心がける

III 社会・政治

- 大切なことを決める場に多様性が生まれるように、選挙についても関心を高め、投票する



こども未来サミットを前に、13日には宇都宮市内で事前学習会を実施。G7各国の男女共同参画の状況などを比較しながら、日本が抱える課題について意見を交わし、宣言書の内容を考えた。この日は一人一人が

(三谷千春) 3面に関連記事

6月24、25日に日光市で開催される先進7カ国(G7)男女共同参画・女性活躍担当相会合の1カ月前イベント「こども未来サミット」が27日、同市鬼怒川温泉大原のテーマパーク「東武ワールドスクウェア」で開かれた。G7各国に留学経験などがある県内中高生12人が、男女共同参画社会の実現に向けた学習成果などを発表。次代を担う自分たちができることをまとめた「宣言書」を作成し、同会合推進協議会会長の福田富一知事と副会長の粉川昭一日光市長に手渡した。

家庭、仕事、政治 県内中高生が宣言



(163)

小学校高学年・中学生向け 年組



こども未来サミットで、記念撮影に臨む中高生と福田知事(前列右)ら。27日午後2時30分、日光市鬼怒川温泉大原、河野光吉撮影

SOON 電子版に動画

学習成果を発表した後、「家庭・家族」「仕事・職場」「社会・政治」の3分野で構成する宣言書を読み上げた。「性別にかかわらず、だれもが共に輝く社会を実現するために、次のように

行動することを誓う」とした上で①立場や役割についての固定概念を取り払い②社会に出たとき、みんなが安心して育休を取得し、復帰できるような雰囲気作りを心がける③大切なことを

決める場に多様性が生まれるように、選挙への関心を高めて投票する―など9項目を盛り込んだ。

生徒を代表し、知事らに宣言書を手渡した白鷺大足利高2年小林音璃さん(17)は「大人頼みではなく、新しい意見を取り入れていけるようにこれからの社会を背負う私たちが学び、後世につなげたい」と

話した。福田知事は「素晴らしい宣言書をまとめてくれた」と生徒たちをたたえた。宣言書は会合初日の6月24日、宇都宮市内で開かれる政府主催の「男女共同参画社会」つくりに向けての全国会議で、生徒たちから改めて小倉将信男女共同参画・女性活躍担当相に提出される。

設 問

【1】5月27日に開かれたイベント「こども未来サミット」は、栃木県の何市で開かれましたか？

【2】子ども未来サミットは、どのような社会の実現を目指していますか？次の()に当てはまる言葉を「こども未来サミット宣言の要旨」から選んで書きましょう。

(1) ()にかかわらず、だれもが(2) ()社会を実現するため。

【3】宣言書は三つの分野に分かれています。「I 家庭・家族」の中に書かれている「イクメン」と「カジダン」とはどのような意味ですか？調べて、分かりやすくまとめてみましょう。

①「イクメン」…

②「カジダン」…

【4】現在の社会では、「イクメン」や「カジダン」は当たり前になっていると思いますか？次の項目に○を付けて選び、そう思う理由を具体的に教えてください。
() 当たり前になっている / () 当たり前になっていない